

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信夫
両団体理事長 半田 晴久
環境技術委員長 坂本 忠彦
専務理事兼事務局長 清原 淳平

環境技術委員会のお知らせ (第335回)

日時 平成29年4月25日(火) 午後1時半～4時

場所 衆議院第一議員会館 地下1階 第6会議室

千代田区永田町2-2-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より2分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車5分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「第5会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

議題 1、「環境問題について、昨今、思うこと」

挨拶 坂本忠彦環境技術委員長

2、藍藻によるCO₂吸収とアミノ酸生成技術

解説 小山内崇明治大学講師

3、『環境技術関連ニュース NO.158』

解説 中島稔科学技術部会長

報告 去る3月21日開催の第334回環境技術委員会は、坂本忠彦委員長が議長を務め行われました。

まず、坂本委員長より、「環境問題について、昨今、思うこと」と題して開会挨拶がありました。東京では、近日中に桜の開花宣言が出されるようで、これは平年並みとのことだ。異常気象や温暖化が多く話題にのぼる中で、平年並みという言葉を聞くと少し安心する。

次に、清原淳平専務理事より、当日の講師・加藤泰浩東京大学教授の経歴紹介がありました。次に、加藤教授より、「南鳥島の排他的経済水域における海底鉱物資源開発の重要性」と題して、以下の解説があ

りました。レアアースは、先端産業や軍用に使われるというだけでなく、風力発電の部品に大量に使われており、CO₂削減にも不可欠だ。中国がレアアース採掘の9割を占めているのは、環境基準が他国より緩く、同時に出るトリウムやウランなどの有害物質を処理していないので安いからだ。中国で大きな利益を得ている。もし日本が海底鉱物資源の採掘に成功すれば、中国に対する強力な経済カードになりうる。南鳥島沖で発見されたレアアース泥は、中国の陸上鉱床の2～5倍の濃度のものが、10～70mの厚さで分布しており、重レアアースを半分含有していることからバランスも良い。また、海底の4地点を探査するだけで資源量を把握することができ、トリウムやウランの含有もない。そして、常温の希酸に短時間浸すだけでレアアースを抽出できる。探査船「ちきゅう」によるレアアース泥の調査は終了しており、現在は揚泥実証試験に入っている。中国がインド洋沖で海底レアアース資源の調査を行っており、アメリカも開発に向けて動いていることから、先端技術の開発は引き揚げ技術並びに費用との戦いでもある。

次に、中島稔科学技術部会長より、『環境技術関連ニュース No. 157』の解説がありました。今回は、○政府、温暖化ガスの削減目標「30年度に13年度比26%削減」を達成するため、「地球温暖化対策計画」を策定。発電所等エネルギー転換28%、家庭39%など、高い削減目標が掲げられている。○夏の南極大陸で史上最高17.5℃を観測。○トランプ政権の脱温暖化対策政策が始動。温暖化に警鐘鳴らしてきた政府機関の予算を削減し、環境保護局長官に温暖化に懐疑的な人物を指名した。パリ協定も脱退することになれば、機能しなくなった京都議定書の二の舞になると懸念の声も挙がっているが果たしてどうなるか。○公害等の環境要因で年170万人の子供が死亡しているとWHOが発表。○韓国のいわゆる原発銀座で重大事故が発生したら、西日本の大半は人が住めなくなる恐れあり、と韓国の学者が発表。○水処理膜を蛇腹状にし、大きさを6分の1に圧縮した。○中古携帯電話を東京五輪のメダルに再生、などの解説があり、一同大いに勉強になりました。

★レクチュアにつき、当日会費 会員千円、非会員三千円にご協力を。

次回、4月25日(火)の環境技術委員会に

出・欠 (いずれかに○印)

御芳名 _____

貴方様のFAX _____

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。
新規参加希望者は、予め履歴書をご提出ください。

事務局宛FAX 03-3507-8587

公益財団法人協和協会 03-3581-1192 時代を刷新する会 03-3272-4320

ホームページ <http://www.kyowakyokai.or.jp> Eメール shigeta@jidaisassin.jp